

第54回特別展

# コロナ禍の



# 暮らしと 会社

新型コロナウイルス感染拡大から3年—  
経済的な苦境や自粛生活に代表される  
不自由を強いられながらも、人びとはさま  
ざまな努力と工夫を重ねてきました。  
感染に関する指標や主なできごと、人びと  
へのインタビューを通して、コロナ禍で  
顕在化した課題を考えます。

2022

2023

12月3日(土) - 3月21日(火)

9:00 - 17:00

会場 福岡県人権啓発情報センター  
春日市原町3丁目1-7 クローバープラザ7階

休館日は第4月曜を除く月曜日、月曜日が祝日の場合は翌日、年末年始の休館日は12月28日～1月4日。

入 場 料 大人200円 / 高校・大学生100円 (中学生以下・65歳以上等は無料)  
主 催 福岡県 / (公財)福岡県人権啓発情報センター  
後 援 福岡県教育委員会 / 福岡県人権啓発活動ネットワーク協議会  
企画協力 九州大学芸術工学研究院 社会包摂デザイン・イニシアティブ

# コロナ禍の暮らしと社会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、社会にこれまで経験したことがないような不安感や閉塞感が広がり、偏見や差別がさまざまな場面で深刻化しています。

コロナ禍による経済危機は、まず非正規社員や外国人、女性など弱い立場の働き手

を直撃し、格差や貧困、これによる社会的な分断や不寛容が広がっています。

一方で、人びとは経済的な苦境、自粛生活に代表される不自由を強いられながらも、この苦境を何とか乗り切ろうと様々な努力と工夫を重ねています。

第54回特別展では、この間の社会のできごとと人びとの暮らしを通して、私たちの社会が抱える課題についてともに考える機会とします。

## 会場内MAP

### 1 感染者の推移と主なできごと

新型コロナウイルス感染症に関わるさまざまな指標と主なできごとを通して、誰もが“当事者”となったコロナ禍での不安や不自由、困難を振り返る。

### 2 コロナ禍の暮らしと社会

暮らし・教育・仕事・文化芸術といった分野の当事者や支援者12人へのインタビューから、人びとが置かれている状況や社会の課題について考える。

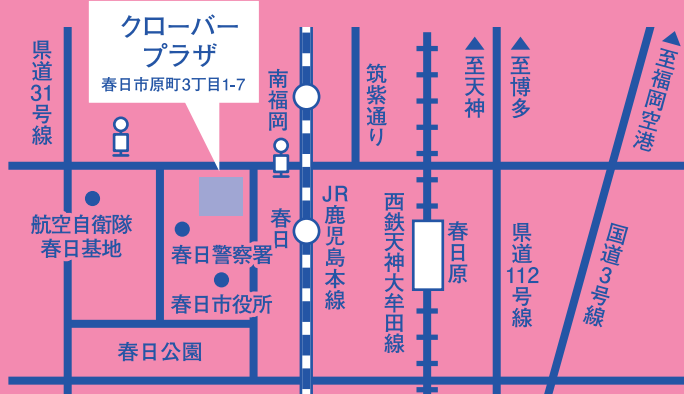
### 展示企画とデザイン

今回の特別展では、九州大学芸術工学研究院 社会包摂デザイン・イニシアティブの全面的なご協力を得て、企画のねらいや展示内容が効果的に伝わるようデザインが工夫されています。

### 関連展示

### パンデミックと文学

パンデミックをテーマとした古典、コロナ禍で描かれた文学作品を展示し、文学者の言葉に触れる。



駐車場に限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

みんなの人権110番

TEL 0570-003-110

(最寄りの法務局、地方法務局につながります)

ひとりで  
悩まずご相談  
ください

ふくおか人権ホットライン

TEL 092-724-2644

(毎月第4金曜日:15時から18時まで)

弁護士が  
無料で法律相談  
に応じます

福岡県 新型コロナウイルス感染症一般相談窓口

TEL 092-643-3288 (24時間対応)

お問い合わせ (公財) 福岡県人権啓発情報センター

TEL 092-584-1271

<https://www.fukuokaken-jinken.or.jp>

HPへ



電車

JR鹿児島本線「春日」駅から約90m  
西鉄天神大牟田線「春日原」駅から約720m

バス

西鉄バスJR春日駅バス停下車  
西鉄バス千歳町2丁目バス停下車